

# 第3期熊本県における医療費の見通しに関する計画の実績に関する評価について

根拠法 高齢者の医療の確保に関する法律第11条第1項  
 計画期間 第1期:平成20～24年度(5年)  
 第2期:平成25～29年度(5年)  
 第3期:平成30～令和5年度(6年)

令和7年(2025年)2月 熊本県 国保・高齢者医療課

「熊本県における医療費の見通しに関する計画」において定める目標と進捗状況

目標項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第3期計画の目標値 (令和5年度)	見解	備考	
住民の健康の保持の推進											
特定健康診査の実施率(%)		51.1%	52.3%	51.2%	54.1%	54.0%	未公表	70%以上	実施率は毎年度上昇する傾向にあるものの、全国平均と比べて低く、伸び悩んでいる。	出典:特定健康診査・特定保健指導に関するデータ(厚生労働省)	
特定保健指導の実施率(%)		36.6%	36.8%	36.9%	38.3%	40.7%	未公表	45%以上	実施率は毎年上昇しており、全国トップクラスであるものの、国の目標の45%には到達していない。		
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の推定数の増減率(%) (対平成20年度比)		13.4%減少	13.6%減少	12.3%減少	14.4%減少	15.5%減少	未公表	平成20年度の制度開始時より25%以上減少	目標とは依然開きがあるものの、第3期計画期間において減少率は毎年度上昇している。	出典:レセプト情報・特定保健指導等情報データ	
たばこ対策 (喫煙率)	成人の喫煙率(%)	—	—	—	—	総数 13.1% 男性 23.0% 女性 4.5%	— (調査なし)	減少	令和4年時点で約13.1%であり、平成23年時点と比べて約4.2%低下している。	出典:熊本県民健康・栄養調査	
	未成年者の喫煙割合(%) (今までにたばこを一口でも吸ったことがあると答えた児童・生徒)	—	小学5,6年生 2.3% 中学生 1.9% 高校生 2.8%	—	—	—	小学5・6年生 1.7% 中学生 0.7% 高校生 0.8%	0%	平成23年時点と比べて、減少傾向であることが予想される。	出典(H23):熊本県学校保健生活実態調査(熊本県) 出典(H30):児童生徒の心と体の健康づくり推進事業 報告書((公財)熊本県学校保健会)	
	妊婦の喫煙率(%)	2.7%	2.9%	2.8%	2.2%	2.0%	未公表	0%	令和4年時点で2.0%であり、平成28年時点と比べて0.9%減少している。	出典(H28):「健やか親子21(第2次)」の指標に基づく乳幼児健康診査必須問診項目調査(熊本県) 出典(R4):「市町村に対する母子保健事業実績報告」(熊本県)	
	受動喫煙防止対策の実施割合(%)	行政機関	—	—	市町村庁舎 100%	—	—	— (調査なし)	100%	健康増進法の改正により、施設における受動喫煙防止対策が義務化されたことなどから、事業所等における受動喫煙防止対策の実施状況は大幅に改善し、計画策定時点と比べて増加しているが、100%には達していない。	出典:市町村庁舎における受動喫煙防止対策状況調査
		医療機関	— (調査予定なし)	—	不明 (※国調査の設問変更により対策実施の有無の判別不能)	—	—	— (調査なし)	100%		出典:県有施設における受動喫煙防止対策状況調査
事業所		—	—	—	—	92.2%	— (調査なし)	増加	出典:医療施設静態調査(厚生労働省)		
飲食店・宿泊業		—	—	—	—	98.0%	— (調査なし)	増加	出典:事業所等における健康づくりに関する状況調査(熊本県)		

目標項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第3期計画の目標値 (令和5年度)	見解	備考
住民の健康の保持の推進									
くまもとスマートライフ プロジェクト応援団の数	1,155団体	1,316団体	1,447団体	1,626団体	1,757団体	2,539団体	1,500団体	くまもとスマートライフプロ ジェクト応援団の数は令和5 年度末で2,539団体となっ ており、平成30年の約2.6倍と なっている。	出典：熊本県健康づくり推進課 調べ
健康増進事業における歯周病検診を 実施している市町村数	27市町村	28市町村	28市町村	30市町村	31市町村	未公表	45市町村	令和4年度で31市町村となっ ており、平成29年度と比べて 8市町村増加している。	出典：地域保健・健康増進事業 報告(厚生労働省)
後期高齢者歯科口腔健康診査の受診率	1.45%	1.47%	1.45%	1.58%	1.69%	1.89%	1.7%以上	令和5年で1.89%となってお り、平成28年と比べて0.8%増 加している。	出典：後期高齢者医療歯科口腔 健康診査受診率の状況(熊本県 後期高齢者医療広域連合)
各種がん検診受診率	胃がん 男性51.0% 女性40.2%  肺がん 男性49.6% 女性44.9%  大腸がん 男性43.0% 女性38.6%  子宮頸がん (過去2年間) 46.0%  乳がん (過去2年間) 49.2% (H25)	— (熊本地震の 影響により調 査対象外)	胃がん 男性53.7% 女性42.1%  肺がん 男性57.5% 女性50.3%  大腸がん 男性51.6% 女性43.8%  子宮がん (過去2年間 女性48.3%  乳がん (過去2年間 女性51.9% (R1)	— (調査なし)	胃がん 男性 50.6% 女性42.9%  肺がん 男性 54.7% 女性51.1%  大腸がん 男性 51.3% 女性45.1%  子宮頸がん (過去2年間) 51.4%  乳がん (過去2年間) 47.5%	— (調査なし)	55%以上	平成25年、平成26年と比べ てほとんどの項目で増加して いる。	出典：国民生活基礎調査
各種がん精密検査受診率	胃がん 81.9% 肺がん 80.1% 大腸がん 79.2% 子宮がん 85.1% 乳がん 91.8% (H30)	胃がん 80.1% 肺がん 75.5% 大腸がん 78.6% 子宮頸がん 85.8% 乳がん 92.2% (R1)	胃がん 82.4% 肺がん 82.1% 大腸がん 75.4% 子宮頸がん 86.0% 乳がん 87.4% (R2)	—	—	未公表	90%以上		出典：地域保健事業・健康増進 事業報告
麻しん風しん混合(MR)ワクチンの 第2期接種率	93.6%	94.6%	94.8%	93.2%	92.9%	91.3%	95%以上	令和5年度は91.3%となってお り、目標に達していない。全 国平均も92.0%と前年度から 減少している。	出典：麻しん風しん予防接種の 実施状況(厚生労働省)

目標項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	第3期計画の目標値 (令和5年度)	見解	備考
医療の効率的な提供の推進									
後発医薬品の使用割合(数量ベース)(%)	80.3%	83.4%	84.9%	85.0%	86.1%	87.9%	80%以上	令和5年度は約87.9%となっており、目標を達成している。	出典:「調剤医療費(電算処理分)の動向(年度版)」各年度の3月末の実績(厚生労働省)※調剤レセプトのみを対象
かかりつけ薬剤師・薬局を決めている県民の割合	—	—	—	—	49.6%	— (調査なし)	60%	令和4年度は49.6%となっており、目標とは開きがあるものの、平成28年度(48.4%)と比べて上昇している。	出典:保健医療に関する県民意識調査報告書(熊本県)
「くまもとメディカルネットワーク」に参加している県民数	10,327人 (H31.3月)	30,868人 (R2.3月)	51,497人 (R3.3月)	69,276人 (R4.3月)	90,867人 (R5.3月)	119,269人 (R6.3月)	50,000人 (R4.3月)	令和6年3月において119,269人となり、平成26年度の運用開始以来順調に増加している。	出典:熊本県医療政策課調べ
訪問診療を受けた患者数	8,094人	8,620人	9,126人	10,019人	10,504人	11,186人	9,730人	令和4年度において10,504人となり、目標を達成した。	出典:熊本県認知症施策・地域ケア推進課調べ
訪問診療を実施する病院・診療所数	464施設	474施設	496施設	481施設	497施設	481施設	534施設	令和5年度において481施設と目標とは開きがあるものの、実施医療機関数は平成29年以降概ね増加傾向である。	出典:熊本県認知症施策・地域ケア推進課調べ

医療に要する費用の見通し	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	適正化後推計値 (令和5年度)	見解	備考
医療費(億円)	7,019億円	7,163億円	6,972億円	7,201億円	7,434億円	7,477億円 (実績見込み)	7,853億円	令和5年度の医療費実績見込みは、7,477億円であり、適正化後の推計7,853億円を376億円下回った。	出典:「都道府県別国民医療費」(厚生労働省)